

授業と評価の年間計画

教科	芸術		科目	音楽Ⅲ
履修条件 対象生徒	選択 普通科 3年			
学習目標	音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。			
学習方法	【授業】 大学受験に必要なソルフェージュ、聴音、音楽理論の3分野について、基礎的な知識・技能を習得する。 【家庭、補習・その他】 授業時間内で完成できる課題がほとんどである。期限に間に合わない場合は家庭もしくは放課後を利用して課題を完成する。			
学習計画 と ねらい	1 学期末考査まで (1) 音程 (2) 音階 (3) ソルフェージュ (4) 聴音 2 学期末考査まで (1) ソルフェージュ (2) 聴音 (3) 和声 (4) 音楽史 学年末考査まで (1) 鑑賞	○楽理の基礎を身に付ける。 ○ソルフェージュや聴音を通して、音感を身に付ける。 ○和音の仕組みについての基礎知識を習得する。 ○様々な作曲者の作品に触れ、ジャンルの違いや特徴について考える。 ○鑑賞を通して、各曲の音楽的特徴を理解するとともに、楽曲の背景にある地域や文化についても学習する。		
評価規準	関心・意欲・態度	表現の創意工夫	表現の技能	鑑賞の能力
	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	「音楽への関心・意欲・態度」「音楽表現の創意工夫」「音楽表現の技能」「鑑賞の能力」の観点別評価規準をもとに、①実技テスト②筆記試験③授業態度・意欲・出席状況④提出物（作品、ノート）などを総合的に判断して評価する。			
その他				

